

## もしも国勢調査がなかったらどうなる？



幅広い状況で私たちの生活に役立てられる「国勢調査」を少し違った視点から見て、その重要性を探ります！

### Census Point

#### 自然災害から命を守るための 万全な防災・災害対策が実施できません

**今** 年も九州などで甚大な被害を受けるなど、災害多発時代を迎えた現代。「命」を守るため、各自治体が策定する防災・災害対策に、国勢調査の昼夜人口等が活用されています。この調査がなければ万全な計画が立てられず、最悪の場合生命にも影響を及ぼす可能性があります。



詳しくは  
こちらで確認▼



### Census Point

#### 国や市町村の「行政」だけでなく 私たちの身近な暮らしに影響を及ぼします

**学** 術研究をはじめ、企業の商品開発や出店計画、需要予想などにも国勢調査の結果が活用されています。私たちが気づかないだけで、身の回りの生活のさまざまな場面で統計結果が反映されているため、この国勢調査がなければ暮らしに影響を及ぼすことにもなりかねません。



### Census Point

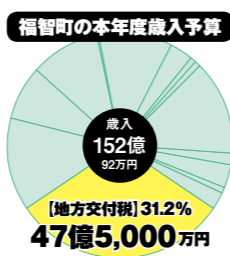
#### 衆議院小選挙区を正しく改定できず 民意を平等に国政へ反映させられません

**衆** 議院小選挙区は、各選挙区の人口が均衡するように国勢調査の結果（人口）をもとに改正されています。地域ごとの正確な人口がわからないと、国会議員の定数を各地域に振り当てられず、日本各地の国民の意見を平等に国政へ反映させることができなくなります。



### Census Point

#### 地方の重要財源である「地方交付税」を 正しく交付することができません



**地** 方自治体間の財政力の均衡を保ち、一定の行政サービスが行えるよう、国税の一部を各自治体へ再配分する「地方交付税」。国勢調査がなければ各自治体の実情に合った額を交付することができず、福智町のような財政の厳しい自治体はその存続にも関わってきます。

Let's study! 国勢調査

2時間目▶  
調査結果の活用法



# 国勢調査の統計結果は どのように活用される？

「日本で最も重要な統計」と呼ばれる国勢調査は、私たちの暮らしの中でどのように役立てられているのでしょうか。今回は、調査をスムーズに進めるため、国と市町村との連携や調整を図っている福岡県調査統計課の用松真一郎さん④と石川麻希さん⑤にお話しをうかがいます。



根拠ある数字で導き出す  
確かな未来への道しるべ

例えば、料理をするときに、

一緒に食事をする人数やそれぞれの好みや考慮して食材調達や調理を進めていくように、何事も何の根拠もなくしては、今後の方向性を定めることができません。それは、日本の今後を考えると、同じく、雇用や少子高齢化など、地域ごとの実態や社会の変化を根拠ある数字で見ること、地域や時代の実情に合った施策や未来につながる計画を考へることができません。

時代が移り変わり、調査方法など国勢調査も時代に合わせて変化していますが、根幹にある「E BPM（証拠に基づく政策立案）」という考え方は、調査が始まった百年前から全く変わっていません。

一人ひとりの現状を正確に捉えることが、  
これからの日本の未来を作っていく第一歩。  
身近な暮らしの色んな場面で「道しるべ」となる  
国勢調査で、皆さんの「今」を伝えてください！

key phrase!!!

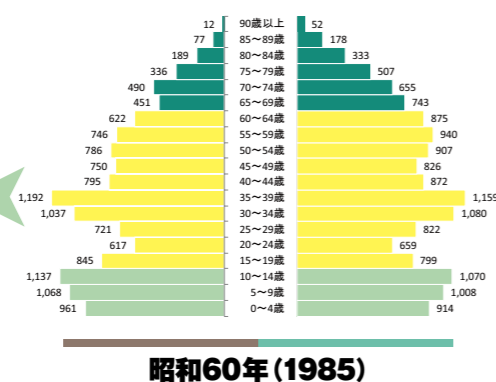
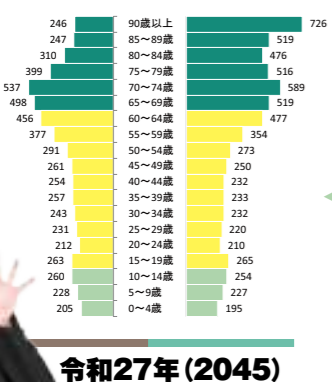
#### 豊かな社会築くための 私たち一人ひとりの「今」

国勢調査から得られた結果は、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して快適に暮らせる社会を作るための羅針盤として役立てられます。また統計は、国全体だけでなく、都道府県別や市区町村別でも出されるため、県や町がさまざまな計画を立てる時にも活用されます。例えば、子どもが増えている地域では児童施設



→今年3月に完成した「福智町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定時にも、国勢調査や他調査の統計結果などが役立てられました。

### 福智町の人口ピラミッドの推移



#### 人口ピラミッドから考える 福智町の「課題とこれから」

福智町の人口ピラミッドの推移を見てみると昭和60年は、年少人口が老年人口よりも多い「つりがね型」を形成していますが、令和27年にはその逆に近い形状で細くなると予測されています。下げ止まりの見えない人口減少をくい止めるためにも、地域ブランド化などによる地方創生が求められています。



をつくったり、高齢者が増えていく地域では高齢者の福祉や介護の充実に力を入れたりします。その他にも、地域の防災・災害対策や道路、上下水道の整備計画などにも国勢調査の結果が活用されており、幅広く私たちの生活に役立てられているのです。すぐには影響を及ぼさないため、効果を感じにくいかもしれませんが、一人ひとりの現状を正確に回答することが、最終的に自分たちの身近な暮らし、そして、これからの日本に反映されていきます。日本に住む私たちの答えが、よりよい未来を作っていく第一歩に：そう捉えて国勢調査にご協力いただければと思います。